



SHINRAN
750th

「いただく あわせる 掌のぬくもりを」

御遠忌通信

第3号



あかり とも

発行日 2018年7月1日
責任者 宮尾 隆造
編集 御遠忌実行委員会
連絡先 長浜教務所

〒526-0059
長浜市元浜町32番4号

TEL 0749-62-0737
FAX 0749-62-0754

教区御遠忌お待ち受け事業 第四十一回 教区同朋大会閉会式挨拶

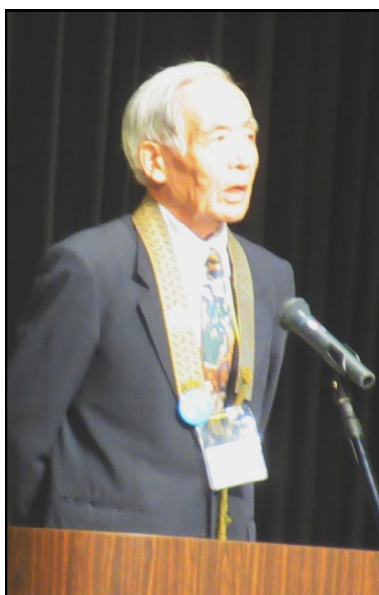
「いのちとの出会い」

第四十一回の長浜教区同朋大会の閉会にあたりましてご挨拶申し上げます。

ただいまは楠先生におかれましては、ご法話をいただきまして誠にありがとうございました。また、本当にたくさんの方々のご参加をたまり、ご法話を聴聞いただきましたことにつきましても厚く御礼申し上げます。

本年も蓮如上人の御影道中が6日と7日とに湖北地方をお通りになりました。私も春風と若葉の上を通ってくる風の上を「蓮如様のおとくり」というあのすばらしいお声を聞きながら、何年またあのすばらしい蓮如様のお通りの声が聞けるのかなと思いつつ過ごさしてもらっております。

また本年は第十九世御門首の乗如上人の御越年を私の組で勤めさせていただくことができました。年末から年始にかけ



教区門徒会長 佐野 稔

て二週間ではありましたが乗如さんのご遺徳を偲びつつ、私の自宅が法要宿だったものですから、乗如上人の御影を枕元に置きながら、新年を迎えさせていただき、本当に幸せな平成三十年ではないのかなというくらいに思っております。

しかしながら、御越年の後、体をこわしまして、今日は病院から一度帰らしていただきまして、この会場に参加させてもらっております。そのようなこともあり、命というものは本当に大切なものなのだと思います。明日からまた病院に再入院するわけですが、来年はどうなっているかと考えもします。

さて、来年の五月の今頃は、同朋大会を休止いたしました。いよいよ親鸞聖人の七百五十回御遠忌を五村別院、長浜別院で厳修いたします。

皆様におかれましては、これから蒸し暑い梅雨になりまして、暑い暑い夏を乗り越えながら、来年もどうか今一度、元気な姿でお会いでき、一緒に御遠忌をお迎えさせていただきたいなと、このように思っております。



おつとめおけいこ会

「御遠忌 ごきげん ワークショップ」の取り組みの一つとして
「おつとめおけいこ会」が始まりました。

私たちの先人は、親鸞聖人の言葉を解釈することよりもそれ以上に、繰り返し音読し、暗唱し唱和しておられました。それはひとえに言葉の響きを大切にして来られたのではないでしょうか。念仏と生活がひとつであったように思います。

いよいよ、来年の5月に親鸞聖人七百五十回御遠忌を迎え、同朋唱和の願いのもと「おつとめおけいこ会」を開催させて頂きます。ぜひ、ご参加くださいますよう心よりお待ちしております。

長浜教区准堂衆会



6月18日開催の第1回目「おつとめおけいこ会」の様子

～スケジュール～

＝2018年＝

- | | | |
|-----|-----------|------------------|
| 第1回 | 6月18日(月) | 声明概説
正信偈草四句目下 |
| 第2回 | 7月30日(月) | 正信偈真四句目下 |
| 第3回 | 9月 3日(月) | ご和讃・回向文 |
| 第4回 | 11月12日(月) | ご和讃・回向文 |
| 第5回 | 12月 3日(月) | 伽 陀 |

＝2019年＝

- | | | |
|-----|----------|----------|
| 第6回 | 2月 4日(月) | 文類偈真四句目下 |
| 第7回 | 4月22日(月) | 質疑応答 |
- *講師 日野 直 師 (小松教区西照寺衆徒)
- *対象 教区内の御門徒方・寺族の方
- *会場 長浜別院大通寺 大谷会館
- *時間 19:00～21:00



「御遠忌 ごきげん ワークショップ」は御遠忌の趣旨に賛同の上、様々な活動を企画し実施いただく団体を募集しました。応募団体の中から選考の上、一定の助成をするもので、助成対象となる事業は御遠忌の願い「生きる力を伝える」に則した多様な活動を行っていただきます。

「御遠忌 ごきげん ワークショップ」を契機として、真宗門徒の皆さんはもとより、宗派を越えて地域の方々との交流を深めてまいります。

長浜教区・五村別院・長浜別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

《五村別院 2019年5月10日(金)～12日(日)》

《長浜別院 2019年5月17日(金)～19日(日)》

1211年（39歳）

親鸞、流罪を許される。

1214年（42歳）

親鸞「さぬき」で三部經千部読誦を発願、やがて中止。常陸へ行く。



宗祖七百回御遠忌の駒札

御遠忌に思うこと

第17組念相寺 住職 千田 洋文

明年五月に長浜教区の宗祖親鸞聖人の七百五十回忌御遠忌をお迎えするということは本当にすばらしい縁だと思っております。それは今を去ることちょうど五十年前の昭和四十三年に自坊で七百回忌御遠忌が勤まったことを思い起こさせるからなのです。

その当時までは、まさか自分が得度をして御遠忌にお参りをする事になるなんて思ってもいなかったのですが、本当に世界が変わってしまったような感じがしました。小学三年生でしたから何も分からないまま阿弥陀經と正信偈、念仏讃三淘を半ば強制的に覚えさせられました。姿勢を崩すと叱られるより先に叩かれたようなスバルタ式の感じでした。今思うと、何とか得度を御遠忌に間に合わせようと父も必死だったのでしょうか。

もう一つ思い出されるのが、御遠忌は周りの人たちの大きな願いがないとできないのだということです。つまり、機が熟すというのでしょうか多くの人々の願いと協力ができないということです。自坊の時も法名前にたくさんの方の門徒さんの遺影が置かれたのを見て、父に聞いたことがありました。「この写真は何なの」といった時、「これは御遠忌を楽しみに

されていたのに会えないまま亡くなった門徒さんの遺影だよ」と父が寂しそうに言ったのを覚えています。こうした宗祖の御遠忌に会わせていただくのは縁と言うより外にはないと思います。今でこそ寿命が延びてそうした機会に会うことが多くなってきましたが、その当時は五十代六十代で亡くなる方も多かったのです。時代の違いということだけではない大事なことだと思います。

今回の御遠忌というご縁を大切にしていけるように精一杯お勤めすることが今の私たちには必要なのではないかと考えます。もちろん教区の方々の協力なくしては勤まらないことでしょうか、ぜひともお互いに頑張ってくださいと思っています。

御遠忌をお迎えするにあたり

第17組存光寺 住職 道祖尾 直子

いよいよ来年五月に長浜・五村両別院にて親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が勤まります。私にとっては、初めて携わる御遠忌ですので、前回の御遠忌はどんな様子だったのかなあと、近所のご住職にお尋ねしました。そのご住職は当時の資料が残っていないが、わざわざ探して下さいましたが、見つからなかったとの事で、「代わりといったら何やけれども」と大通寺の山門についてお話をして下さいました。



宗祖700回御遠忌の様子（長浜別院大通寺）

ご存知の方も多いでしょうが大通寺の山門は東本願寺の山門と全く同じ構造で建立されました。ですので本山の山門が火事で焼けてしまった時は、大通寺の山門の設計図を基に、1・5倍の大きさで本山の山門は建立されたそうです。

また京都の寺院には有名な山門（三門ともいう）がいくつかありますが、南禅寺、知恩院と並び称される東本願寺の山門には敷居がありません。無いのが当たり前のように思っていました。南禅寺（禅宗）の三門には大きな木の敷居があります。教えて下さったご住職いわく、高さが三十センチ以上もあり、ヒョイとまたげる様な敷居ではないとの事でした。禅宗の教えに基づき、三門の敷居は仏の世界と人間の俗世の結界であり、誰でも安易に踏み入れない様にする為のものなのです。その敷居が本山の山門、大通寺の山門には無いという事は、阿弥陀様の大慈悲心が一切衆生に向けられているということの現れですね。

その様な有り難さを感じる事のできる大通寺の山門は、2014年に屋根の葺き替え等の改修が完了し、現在は御遠忌の横断幕と

（裏面につづく）

1224年（52歳）

親鸞、当年を末法に入って683年と『教行信証』に記す。

覚信尼誕生

もにその時を待つばかりです。実は去年私は、第17組の仏教婦人会研修でこの山門にのぼりました。二階部分からの眺望は最高で、風も気持ちよく、そして何よりも感動した事は、本山と同じ様に上棟の中央にお釈迦様、左右に阿難尊者と弥勒菩薩がいらっしゃる、手に触れる事ができる程近くまで寄って手を合わせられた事でした。御遠忌未体験の私がこうして大通寺の山門から、阿弥陀様の一切衆生を救うんだという願いまで思いをはせる事ができるのも、親鸞聖人の教えを絶やさず伝えてきて下さった先達の方々のおかげです。また皆様も是非、大通寺の山門にのぼって、聖人の教えを肌で感じて頂きたいです。皆様と七百五十回御遠忌でお会いできる事を楽しみにしております。

情宣部報告

御遠忌通信第2号で報告させていただいた、長浜別院山門と五村別院横壁の法要告知横断幕設置に引き続き、6月2日(土)に五村別院山門に法要期間告知横断幕を設置いたしました。



御遠忌実行委員会からのお知らせ

御遠忌実行委員会(全体会)開催!

先の御遠忌委員会からの「御遠忌総計画」を受けて立ち上げられた、御遠忌実行委員会は、1年間をかけて儀式部、参拝部、事業部、情宣部の各部に分かれ、計画をより具体化するための協議を進めて参りました。

それらを踏まえて行われた6月25日(月)開催の御遠忌実行委員会(全体会)では、これまで検討してきた内容についてを「御遠忌概要」に取り纏め、報告と各部間での共有がなされました。

今後は、「御遠忌概要」に沿って総計画予算の変更が加えられ、両別院院議会並びに教区会・教区門徒会での審議を経たのち、教務所長巡回にて各寺院、ご門徒に詳細なお知らせをさせていただきます。

